



目と身体と脳をつなぐ ビジョントレーニング

【第11回】「見るチカラ」でつながる様々な機関、現場

一般社団法人 日本ビジョントレーニング普及協会理事 横田幹雄

■ 全小学校の全児童が
トレーニングを行う市も

私どもは2016年に活動を始め、18年に一般社団法人になりました。ちょうどその頃、地元の大阪府大東市では、「まちゼミ」という地域産業の活性化を図る取組がスタートしたばかり。当会は一人でも多くの方にビジョントレーニングを知っていただくべくこれに参加し、無料のミニ講座を開催しました。会場は地元のメガネ店ジュエールミズカミさん。「目の健康で地域のお役に立てるなら」と店舗の一角を無償で提供してくださいました。まさに「まちゼミ」ならではの「教室」でした。

また同じ頃、当会代表理事の久保田実希が地元でコーチを務めるバドミントンのジュニアチームでビジョントレーニングの有効性を説き、練習前のアップに導入しました。その成果が現れたのか、わずか1年の間に、ナショナルチームの選抜メンバーに選ばれたり、地方大会で優

大阪府富田林市教育委員会の報告より

学校名	対象	時間	効果
富田林小	全児童	毎日の朝の会、国語と算数の初めに	低学年においては、目を動かす距離が長くなり、ノートを書くのが上手になった。
新堂小	通級児童	授業の中で	生き生きと目を動かすようになった。数字を見つけるのが早くなった。
喜志小	支援学級児童	授業の中で	形を的確に捉えられるようになってきた。
大伴小	支援学級児童	授業の中で	音読のスピードが速くなった。
彼方小	支援学級児童	授業の初めに	音読のミスや漢字の間違いが減少した。
	2年児童	毎日（休日も含む）	図形の見分けができる児童が増加した。
	3年児童	毎日（休日も含む）	細部まで見て、絵に表すことができるようになった。
	4年児童	国語の前に	板書をスムーズに書き取ることができるようになった。
	4年児童	朝の会を中心に	落ち着いて授業に取り組むことができる児童が増加した。
錦郡小	支援学級児童	授業の初めに	視写や音読などがスムーズにできるようになってきた。
川西小	全児童	毎朝、授業の開始前に	本読み（主に音読）がスムーズにこなせるようになってきた。集中力も増し、次の活動への切り替えも早くなってきた。

勝したり、上位入賞したりする子どもたちが続出したのです。そんなことから地元で私たちの活動が知られていき、前回もお話したように教育現場でもビジョントレーニングが注目されるようになっていきました。

地元大東市の教育委員会が市



スポーツの現場で
ますます高まる評価

一方、私どもの本拠地の大東

ビジョントレーニングの体験会を開いたり、普及動画を撮ったりといった活動を行ったこともありました。

内教員の研修に導入してくれたことを皮切りに、富田林市の小学校でも普及が進んでいきました。これも前回お話ししたとおり、富田林市では現在、全小学校が何らかの形でビジョントレーニングを取り入れ、全児童が行っていると聞いております。

また、同市では、市民の皆さんの運動不足やストレスの解消のため、教育委員会の生涯学習課と協働して、



地元のバドミントンジュニアチームで

市では、教育委員会の計らいによって、2018年から夏の教員研修で「ビジョントレーニングと子どもの発達」をテーマに話をさせていただいています。さらに同研修に参加していただいた支援学級の先生から、自分が勤務する学校でも研修を行ってほしいとのご要望があり、どんどん浸透していったのです。そもそも私どもは、市民会館の一室からマンツーマンで始めた教室でしたが、現在では約30名の児童が通うスタジオに発展し、グループトレーニング（4名）と個別トレーニングを合わ

せて、週4日12クラスを運営するようになりました。これもまた、近隣の先生方や保護者のご要望で成り立ったものです。

地元では前述のメガネ店だけでなく、スポーツ用品店にもご協力いただき、店主の皆さんの集まりで講演させていただきました。以来、野球、サッカー、バレーボールなどへの普及を検討していただいております。

スポーツに関して言えば、当会顧問で米國オプトメリドクターの北出勝也先生と、当会アドバイザーの飯田覚士先生（ボクシングWBA世界スーパーフライ級元チャンピオン）の活動により、プロボクサーの間でもビジョントレーニングは注目されるようになりました。当会にも現在、国内チャンピオンの選手が通っていらっしゃいます。

■ 保育園やデイサービスの職員がトレーナーに

当会では、2019年春より、就学前児童の発達支援にも力を入れるようになり、近隣の企業

主導型保育園にビジョントレーニングを導入していただいております。そのために、職員全員に私たちの研修を受けていただき、保護者への説明会を開いて、充分にご理解いただきました。

さらにまた、地域の放課後等デイサービスの事業者の皆さんも、ビジョントレーニングが児童の発達支援に有効であることから、当会の「プロフェッショナルビジョントレーナー養成講座（全12回）」を受講していた

だき、今やプロのビジョントレーナーとして、通所する子どもたちに日々トレーニングプログラムを実践なさっています。こうして当会は、現在、保育園5カ所、デイサービス8カ所と契約し、様々なサポートをさせていただくようになりました。

また、最近始まったのは、大阪府南部に位置する泉大津市との取組です。昨年、近畿大学で講演させていただいた際、同市の市長と教育長が参会なさっていて、大変興味を持っていただきました。そして間を置かず、

市内支援学級の先生方、その他教員の皆さんを対象にした研修や、地域のスポーツ活動に関わる指導者の皆さんなどを対象にした研修をさせていただくことになったのです。大変うれしく、期待のふくらむ出来事でした。同市の支援学級の先生方には、教員向けのプロフェッショナルビジョントレーナー養成講座を受講していただく予定です。

最後に大切な連携機関を紹介させていただきます。まず「視覚発達支援研究会」。子どもの発達障害や学習障害の専門家である大阪医科大学LDセンターの奥村智人先生が主宰する会ですが、私どもも会員として加えさせていただき、海外の最新事例や研究報告を学んでいます。

また、前述の北出先生が代表理事を務める「一般社団法人視覚トレーニング協会」、そして飯田先生が代表理事を務める「一般社団法人日本視覚能力トレーニング協会」とも連携し、子どもの発達とその支援について日々情報交換を行っています。